別紙1

令和2年度　先行モデルプロジェクト（7事業）

事業名	団体名	対象区域	主な構成員	取組概要
さいたま市スマートシティ推進事業（大宮駅・さいたま新都心周辺地区）	さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム	埼玉県さいたま市 大宮駅・さいたま新都心周辺地区	さいたま市 （一社）アーバンデザインセンター大宮、日建設計総合研究所、埼玉大学、鉄道事業者、バス事業者、埼玉県乗用自動車協会、OpenStreet、ENEOSホールディングス、ヤフー、JTB、Sinagy Revo	○ 大宮駅・さいたま新都心周辺地区を対象に、ICT×次世代モビリティ×複合サービスの提供や、サービスで取得するビッグデータの活用により、交通結節点とまちが一体となった「スマート・ターミナル・シティ」を目指す。 ○ R2年度は、①シェア型マルチモビリティサービスとダイナミック・モビリティハブ実証、②各種モビリティからのビッグデータを活用したスマート・プランニング実証に取り組む。
羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）	羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会	東京都大田区 羽田空港跡地第1ゾーン（羽田イノベーションシティ）	大田区 鹿島建設、羽田みらい開発、日本総合研究所、アバンアソシエイツ、鹿島建物総合管理、BOLDLY、TIS ほか多数	○ 空港跡地のグリーンフィールドである街全体を対象として、BIMを活用したデータの統合・可視化・分析が可能な「空間情報データ連携基盤」を整備し、先端的技術の協調領域とすることで、実証的取組に適したテストベッドを形成し、大田区の課題解決に資する取組みを展開し、早期のサービス実装を目指す。 ○ R2年度は、①最先端モビリティの導入、統合管制実証、②最先端ロボットの導入、統合管制、ロボットと建物機能との連携によるサービス高度化実証、③AI観光案内ロボットと空間情報連携基盤の連携、アバターロボットによる観光客誘客、データ活用エリアマネジメント実証に取り組む。
スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現	新潟市スマートシティ協議会	新潟県新潟市 中心市街地（新潟駅周辺地区、万代地区、古町地区）	新潟市 新潟大学、事業創造大学院大学、新潟古町まちづくり（株）、 （株）NTTドコモ新潟支店、（株）福山コンサルタント東京支社　ほか24団体	○ 中心市街地のストック活性化のため、アプリで商業、観光、イベント等に関する情報発信を行い、収集したデータを活用した効果分析・シミュレーションを通じ、コンテンツの充実、情報の発信方法の改善を図る「スマートプランニングの高度化」を実施する。 ○ R2年度は、①データ駆動型コンテンツ統合アプリの開発、②スマート・プランニングによる施策アドバイザーツール、③インセンティブ提供媒体を活用したビジネスモデル検証、④レンタサイクル高度化による回遊性向上の実証に取り組む。
スマートシティ実現で増幅するエリアの引力	岡崎スマートコミュニティ推進協議会	愛知県岡崎市 乙川リバーフロントQURUWA地区	岡崎市 （株）日本総合研究所、（株）デンソー、西日本電信電話（株）、日本電気（株）、東京大学先端科学技術センター	○ センシングデータを利活用した「楽しい・快適・安全なウォーカブルシティ」の構築するとともに、スマート技術やデータ利活用の便利さを感じられる「人間中心のまち」を実現。スマートシティ実現で魅力を可視化し、持続可能なまちの引力（誘客・民間投資・出　店・居住意向）を増幅する。 ○ R2年度は、カメラの人流分析に防犯用途を兼ねたマルチユース化、GPS人流分析、3D-LiDARリアルタイム分析、デジタルサイネージによるまちのデータの共有、統合人流分析シミュレーションの実証に取り組む。
うめきた2期地区等スマートシティモデル事業	うめきた2期地区等スマートシティ形成協議会	大阪府大阪市 うめきた2期地区、夢洲地区	大阪府、大阪市 三菱地所、都市再生機構、JR西日本、Osaka Metro、大阪ガス都市開発、オリックス不動産、関電不動産開発、積水ハウス、竹中工務店、阪急電鉄、三菱地所レジデンス、うめきた開発特定目的会社	○ ターミナル立地の広大な都市公園を有するうめきた2期地区や、国際集客拠点をめざす夢洲地区において、最先端技術の導入・実証実験の実施を行いやすいグリーンフィールドとしての特性を活かし、豊富なデータの利活用を実現するプラットフォームを整備し、“事業創出”・“市民のQOL向上”・“マネジメントの高度化”に資する施策に官民の枠を超えて取り組む。 ○ R2年度は、パーソナルモビリティ実証、来街者数・属性分析実証、遠隔緑地管理システム実証、遠隔操作ロボット実証に取り組む。
加古川スマートシティ事業	かこがわICTまちづくり協議会	兵庫県加古川市 全域	加古川市 （株）日建設計総合研究所、（株）日建設計シビル、日本電気（株）、綜合警備保障（株）、（株）フューチャーリンクネットワーク、関西電力（株）	○ ICTなどの先端技術を積極的に活用し、“安全・安心”をはじめとする様々な地域課題に多様な主体が協働して取り組む、魅力的なコミュニティを形成し、共に支え、いつまでも安心して快適に暮らせるまちを目指す。 ○ R2年度は、①河川防災性向上に向けた、市町村災害対応統合システムとの連携や内水氾濫等対応のためのセンシング、行政情報ダッシュボードでの可視化・情報一元化、②次世代見守りサービスの広域展開、高齢者見守りサービスの実証に取り組む。
荒尾ウェルビーイングスマートシティ	あらおスマートシティ推進協議会	熊本県荒尾市 （南新地地区）	荒尾市 JTB総合研究所、三井物産、有明エナジー、グローバルエンジニアリング　UR都市機構 ＜アドバイザー会員＞東京大学、COI東北拠点（東北大学） ＜サポート会員＞ITID	○ センシング技術を活用し、さりげなく日常生活の中で健康状態がわかる「日常人間ドック」、パーソナルデータエコシステムの活用など、多様な先進技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市を創造。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を目指す。 ○ R2年度は、①さりげないセンシングと日常人間ドック、②パーソナルデータエコシステムの実証に取り組む。